

大城・花木が県代表

ホーリース卓球県予選

卓球の第22回東アジアボーリング大会日本代表選考会県予選は3日、県総合運動公園体育館で行われ、男子は大城秋一（金武卓球道場）が本村義（宮古島南星TC）を3-0で下し、優勝した。女子は花木愛理（香優会）が高山朝華（ドリームたかやま卓球スポーツ少年団）に3-2で競り勝った。大城と花木は、6月に栃木県で開催される国内予選会に出場する。

大城会心 花木安ど

○…男子決勝をストレート勝ちの大城秋一はカットで小さくなづツツキなど、練習したことがうまく出せた」と会心の笑み。女子決勝で接戦を制した花木愛理は「レシーブが入らず、きつかった。サーブとドライブがうまく入り、逆転できた」と、ほっとした表情だった。二人は眞代表として、国内予選会に出席する。

大城は「練習で磨いた技をさらに強化し、16強を目指したい」、花木も「残り3カ月でレシーブを磨き、私も16強に入りたい」と、それぞれ力を込めた。

男子の部で優勝した大城萩一(右)と女子優勝の花木愛理
三県総合運動公園体育館

稀勢の里が 目の上裂傷

日馬と手合わせで

○…大関稀勢の里が3
日、大阪市港区の鳴戸部屋
へ出稽古に来た横綱日馬富士
との相撲で、左目の上を
深く裂傷するアクシデント
に見舞われた。日馬富士と
の2番目の手合させで、相
手の頭が当たったもよう。

バナ・堺・東レ
決勝Rへ進出

男子バレ

バレーボール男子のフレミアリーグは3日、広島県の呉市総合体育館などで行われ、パナソニック、堺、われ、パナソニック、堺、東レが新たにレギュラーシーズン4位以内を確定させて決勝ラウンドに進んだ。既に進出を決めた首位サンetriはFC東京を3-0で下し、1位を決めた。

バレーボール男子のフレミアリーグは3日、広島県の呉市総合体育馆などで行われ、パナソニック、堺、東レが新たにレギュラーシーズン4位以内を確定させて決勝ラウンドに進んだ。既に進出を決めた首位サンフレッチェはFC東京を3-0で下し、1位を決めた。